

都立動物園・水族園の管理運営における基本理念

【東京都における都立動物園・水族園の機能と役割】

- ◆首都東京の顔として外国人を含む多くの来園者を集める
- ◆日本を代表する動物園・水族園として国内の中心的な役割を果たす
- ◆都市化の進展した東京にあって、環境教育の拠点となり、日本の自然環境を守る
- ◆都会の人々の自然に対する理解と関心を高める

都立動物園の目指す姿、担う役割を示す東京都策定のマスタープラン

『都立動物園マスタープラン』
『パークマネジメントマスタープラン』

上記実現のための【3つの基本理念】

1. 展示の工夫と快適な観覧環境の提供による、**楽しみながら学べる動物園・水族園の実現**
2. 国内外の動物園や研究機関との協力による、**野生生物保全への貢献**
3. 公益法人の制度的特性を活かした、**公益性と経営感覚をあわせもった施設運営**

これらに基づき、「都立動物園マスタープラン」、「パークマネジメントマスタープラン」の実現に向け、4園一体のメリットを大いに発揮した事業運営を行います。



都立動物園・水族園の目指す姿

恩賜上野動物園



目指す姿：
様々な動物の魅力的な展示を通して、野生動物保全の重要性を国内外へ発信する動物園

- ・野生動物に関する多様な情報発信の拠点
- ・多様な生物を展示する複合展示など
- ・誰もが利用しやすい観覧環境の充実

多摩動物公園



目指す姿：
多摩丘陵の自然を活用し、ダイナミックな展示と野生動物の繁殖を推進する動物園

- ・豊かな自然を活かした生息環境の再現
- ・野生動物の繁殖基地としての機能充実
- ・野生生物保全センターでの保全の推進

葛西臨海水族園



目指す姿：
「生態」から「食育」まで楽しく学べる水族館

- ・東京湾から外洋、世界各地の海の生態をいきいきと再現する展示
- ・海と人とのつながりを情報発信
- ・海洋生物研究の拠点

井の頭自然文化園



目指す姿：
いつでも気軽に楽しみ、充実したふれあい体験を通じ、野生動物を守る心を育む動物園

- ・メダカからツシヤママネコまで日本産動物の保全と普及啓発の拠点
- ・動物を身近に感じる教育プログラムの充実
- ・美術や音楽などの文化も楽しめる魅力的な施設運営

日本を代表する動物園、水族館として、希少な野生動物の域内、域外保全に貢献し、生物多様性の大切さの普及啓発をはかっていくため、4園一体のメリットを最大限活かし、下記の目標を掲げ具体的に取り組んでいきます。

指標	10年間の目標値
年間来園者数最大値	750万人
教育普及センター（仮称）の設置	新設
ズーストック種、保全対象種の繁殖数	年12件
Visit Zooキャンペーンの実施	年4回

野生生物保全・飼育展示・教育普及

世界の野生動物の保全に貢献する都立動物園・水族園

- ・ 生息域内・域外保全に向けた取組
- ・ 保全対象種の指定による効果的な保全活動
- ・ バイオテクノロジーの応用
- ・ 野生生物保全の普及啓発活動

生息域外保全の場として貢献すると共に、
社会教育施設として都民に野生生物保全の重要性を伝える。

【飼育展示の主な取組】

- ・ 臨場感あふれる体感型展示の実現
- ・ 環境エンリッチメントの推進、解説ツールの新設による展示改善
- ・ 動物福祉の観点における世界基準を満たした管理と施設

【教育普及の主な取組】

- ・ 園内教育プログラムの充実
- ・ 移動水族館などのアウトリーチ活動の推進
- ・ 学校教育との連携



世界基準の飼育技術導入・野生生物保全への貢献に向けた国際的ネットワークへの参加
国内外の会議等への参加・国際組織との連携・職員海外派遣制度等による国際交流の推進

【国際的ネットワークにおける交流イメージ】



- ①JAZA: 日本動物園水族館協会 ②WAZA: 世界動物園水族館協会 ③Association of Zoos & Aquariums: 北米動物園水族館協会
④EAZA: ヨーロッパ動物園水族館協会 ⑤SEAZA: 東南アジア動物園水族館協会 ⑥ARAZPA: オーストラリア動物園水族館協会

質の高いサービスの提供

動物園・水族園の魅力を最大限に引き出すサービスを提供します。

科学的知見に基づいた情報発信

- ・ 飼育担当者による解説（キーパーズトーク）
- ・ 動物解説員による園内ガイドツアー

快適な観覧環境の提供

- ・ 繁忙期の開園時間の延長
- ・ ボランティアとの協働によるサービス

多様なサービス・利用促進の展開

- ・ 季節性を意識した来園者誘致への取組
- ・ 様々なメディアを活用した広告宣伝活動



2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて

日本を代表する動物園・水族園として、多くの外国人旅行者をお迎えする「おもてなし」を展開します。

- ・ 案内系スタッフへの外国語研修強化
- ・ ユニバーサルデザインの視点による環境整備
- ・ 国産動物や日本の自然をテーマとした企画展示
- ・ オリンピック、パラリンピックにあわせたイベントの実施
- ・ 多言語による案内表記の実現

施設維持管理

安全で快適な観覧環境を確保するため、『都立公園の維持管理技術指針』に則り進めます。

- ・ 展示動物の飼育環境維持
- ・ 園内植物の適切な維持管理と資源としての活用
- ・ 気象災害対策計画書、雪害対策計画書の作成
- ・ 猛獣脱出対策訓練の定期実施

